

大塚国際美術館 開館15周年記念

## 神のごときミケランジェロ

2013年9月1日(日)～11月30日(土)

大塚国際美術館(館長:大塚一郎、所在地:徳島県鳴門市)は、世界25ヶ国、約190余りの美術館が所蔵する名画を原寸大に再現した陶板名画美術館です。なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇壁画「最後の審判」が描かれたシスティーナ礼拝堂を立体再現した「システィーナ・ホール」の迫力は必見です。

今年はシスティーナ礼拝堂天井画が完成500周年の年にあたります。そこで西洋美術史上のあらゆる分野に多大な影響を与え、「神のごとき」と称されたミケランジェロに焦点を当て、その魅力を深く掘り下げたイベントを開催します。

また「日本におけるイタリア年」の今年、日本国内ではルネサンス3大巨匠と呼ばれるミケランジェロ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ラファエッロの作品が来日し、展覧会が開催され注目を集めている中、同時期に東京・国立西洋美術館で開催される「システィーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展―天才の軌跡」とのコラボレーションも決定し、東西でミケランジェロの業績に触れられる、またとない機会です。

さらにルネサンス史上最も美しい英雄チェーザレ・ボルジアの生涯を描き、累計130万部突破の人気漫画『チェーザレ～破壊の創造者～』(惣領冬実作、原基晶監修)とのタイアップも決定。コミックでは若き日のミケランジェロが登場し、ルネサンス時代を生きた英雄と巨匠の出会いも描かれています。当館にて描きおろしイラスト展やグッズの販売も行います。

開館15年の節目に、当館の象徴ともいえるメインホール「システィーナ・ホール」を通し、ミケランジェロの偉業と同時代を生きた画家や、彼らを取り巻く人物の魅力を知って欲しいと思います。また、美を極めたルネサンス美術作品を通じてその芸術的な豊かさに触れ、新たなアートとの出会い、感動をお伝えすることができればと考えております。

### ■「神のごときミケランジェロ」いろいろな楽しみ方



#### 週末ギャラリートーク「神のごときミケランジェロ」

(毎週 金・土・日開催)

スタッフがお客様と一緒に館内を巡りながら、ミケランジェロの魅力や、同時代に活躍したレオナルド・ダ・ヴィンチやラファエッロなどの作品をご紹介します。

(日時) 毎週金・土・日限定 14時から(約40分)

(定員) 定員30名(事前予約可) ※各種イベント開催時には変更・休止する場合がございます

#### さらに詳しく! 『ミケペディア』の配布

(期間中毎日)

これさえあればミケランジェロがよ～くわかる鑑賞シートを、お一人様におひとつプレゼント!

## レストラン&カフェ

レストラン ガーデンでは、ミケランジェロの故郷トスカーナ地方の家庭的な料理をメインにしたランチが登場。またカフェ ド ジヴェルニーでは、ルネサンス期にイタリア フィレンツェで誕生したズコットケーキも登場します。



ミケランジェロランチ  
1,000円

トスカーナ風  
若鶏の煮込みとラザニア添え



ズコットケーキも選べる！  
本日のスイーツセット 800円  
(デザート2種とドリンク)

※ズコットとは、  
カトリック教会の半球形頭巾を  
指すイタリア語 “ズケット” に  
由来しています

## ミュージアムショップ

なかなか手にはいかないミケランジェロにちなんだグッズを揃えています。  
また、当館オリジナルミニ陶板に新しい絵柄も仲間入り！



ミケランジェログッズが勢ぞろい

## 人気コミック『チェーザレ～破壊の創造者～』タイアップ企画 (期間中毎日)

ミケランジェロが活躍した時代に実在した英雄、チェーザレ・ボルジアの生涯を描いた人気漫画『チェーザレ～破壊の創造者～』とタイアップしたイベントも盛りだくさん！

### 関西初 描きおろしイラスト展

惣領冬実が描きおろした『チェーザレ～破壊の創造者～』登場人物やルネサンス期の画家たち16名のイラスト展を開催！

### オリジナルグッズの販売

### 『なりきりチェーザレ&ミケランジェロ』記念撮影コーナー

ルネサンス史上最も美しい英雄チェーザレと、神のごとき巨匠ミケランジェロの衣装を着て、システイーナ礼拝堂壁画を背景に記念撮影ができるコーナーが登場！

### チェーザレランチが登場！

コミックに出てくる食材をつかったスペシャルランチ。

チェーザレランチ 1,500円  
チェーザレチキンとマッケローニ  
乾燥ブルーニャの赤ワイン煮込み添え



チキンは9巻、  
マッケローニは  
1巻、  
ブルーニャは  
4巻に登場

## 当館展示作品「デルフォイの巫女」 東京・国立西洋美術館へ貸出

「システイーナ礼拝堂500年記念 ミケランジェロ展-天才の軌跡」とのコラボレーションが決定し、日本の東西でミケランジェロの業績が一望できる、またとない機会です。

## ご参考

### システイーナ礼拝堂について

システイーナ礼拝堂は、ヴァチカン宮殿にある礼拝堂。ローマ教皇ユリウス2世の依頼でミケランジェロが1508年から1512年にかけて描いた天井画と、教皇クレメンス7世が依頼し、ローマ教皇パウルス3世が完成を命じ、1535年から1541年にかけて描いた「最後の審判」はミケランジェロと盛期ルネサンス絵画の最高傑作となった。当館では、陶板で環境空間ごとそのまま原寸大に立体再現しており、臨場感を味わえる展示となっている。

### ミケランジェロについて

ミケランジェロ・ブオナローティ（1475年－1564年）。フィレンツェ共和国のカプレーゼ生まれ。画家、彫刻家、建築家として、西洋美術史上のあらゆる分野に、大きな影響を与えた芸術家である。レオナルド・ダ・ヴィンチ、ラファエッロとともにルネサンス3大巨匠に数えられる。代表的な彫刻作品として「ピエタ」や「ダヴィデ像」があり、ミケランジェロ自身は、彫刻分野こそ本業だと考えていた。そのため絵画作品を軽視していたが、ローマ教皇の依頼により2点のフレスコ画、システイーナ礼拝堂の天井画と祭壇壁画「最後の審判」を描き、自身の代表作となった。

### コミック「チェーザレ～破壊の創造者～」について

惣領冬実作、人気歴史漫画。ルネサンス史上最も美しい英雄チェーザレ・ボルジアの生涯を描き、累計130万部突破の大ヒット作。歴史の闇に埋もれた英雄の真実を調べるため、監修にダンテ学者の原基晶を迎え、本邦未訳のG・サチェルドーテ版の伝記を翻訳しながら、歴史を精査し描く。週刊モーニングにて不定期連載中。



### 国立西洋美術館「システイーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展～天才の軌跡」について

ミケランジェロの素描と書簡に関しては世界一の質と量を誇り、世界的なミケランジェロ研究の拠点としても重要な役割を果たしているカーサ・ブオナローティ美術館（イタリア、フィレンツェ）の全面協力により、《レダの頭部習作》《最後の審判のための習作》など素描の傑作群、彫刻、自筆の手紙、関連作品など60点が来日し、初期の大理石彫刻の名作《階段の聖母》をはじめ、半数が日本初公開となる。

- 〔会場〕 国立西洋美術館（東京・上野公園）
- 〔会期〕 2013年9月6日（金）～11月17日（日）
- 〔主催〕 国立西洋美術館 TBS 朝日新聞社
- 〔特別協賛〕 大塚ホールディングス
- 〔協賛〕 こだま印刷、セコム
- 〔協力〕 大塚国際美術館、大塚オーミ陶業、アリタリア-イタリア航空、日本通運、JR東日本、西洋美術振興財団

〔ミケランジェロ展に関するお問合せ先〕 03-5777-8600（ハローダイヤル）

## ◇ 大塚国際美術館とは ◇

渦潮を臨み緑豊かな鳴門公園に位置する「大塚国際美術館」。古代壁画から世界 25 ヶ国 190 余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000 点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に複製しています。約 4 km に及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晚餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇壁画「最後の審判」とともに立体再現した「システイーナ・ホール」の迫力は必見です。

### 大塚国際美術館

- 住所：徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内
- TEL：088-687-3737
- FAX：088-687-1117
- <http://www.o-museum.or.jp/>
- 開館時間：9 時 30 分から 17 時（入館は 16 時まで）
- 休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）  
正月明けに連続休館あり／8 月無休
- 入館料：小・中・高生 520 円  
大 学 生 2,100 円  
一 般 3,150 円  
\*20 名以上の団体は 10%割引
- アクセス
  - ・鳴門北 IC から車で約 3 分  
専用駐車場より無料シャトルバス運行
  - ・高速バスにて（高速鳴門まで）  
JR 大阪駅より約 2 時間 10 分／JR 新神戸より約 1 時間 35 分
  - ・路線バス「鳴門公園行」にて「大塚国際美術館前」下車  
JR 徳島駅より約 60 分、JR 鳴門駅より約 15 分、  
高速鳴門より徒歩で「小鳴門橋」バス停より約 15 分、  
「徳島空港」バス停より約 30 分



環境展示：「システイーナ・ホール」

#### 《本件に関するお問い合わせ先》

大塚国際美術館 学芸部 広報担当 土橋加奈子、山側千紘

TEL：088-687-3737 FAX：088-687-1117 e-mail：info@o-museum.or.jp